

ふるさと

解説版

EXILE ATSUSHI

作詞 高野辰之 作曲 岡野貞一

兔追いしかの山

(↓自分とずっと共に歩いてきたこの身体、思い出、人生を血流を感じながら辿っていく感じ)

小鮒（こぶな）釣りしかの川

夢は今もめぐりて

(↓辿ってきた人生を抱きしめる)

忘れがたき故郷

(↓会いたいけど会えない、亡くなった存在たち。意識の中でだったら伝えられるから、意識の中で伝える)

如何にいます父母 恙なしや友がき

(↓大変だったことを思い出す/キュッとする体感を感じる)

雨に風につけても

(↓思い返せばそれさえも全部OK!よかったね)

思いいずる故郷

[間奏] (ヴァイオリンを弾く、自分の人生への祝福のメロディー)

こころざしをはたして

(↓魂がランタンのように天へとかえっていく)

いつの日ひにか帰らん

(故郷▶地球をつくる)

山はあおき故郷

(地球がゆりかごで赤ちゃんがユラユラ水の中にいる)

水は清き故郷

(地球での思い出に想いを馳せながら松果体に入れていく)

忘れがたき故郷